

令和6年1月

「H I V検査報告書」変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記報告書につきまして内容を変更させていただくこととなりましたので、ご案内申し上げます。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(記)

■ 変更期日 令和6年2月1日(木) 発行分より

■ 検査項目 [2357]HIV-1/2抗体[確認]
[2560]HIV-1RNA定量[TaqMan]

■ 変更内容

変更箇所	新	旧	備考
用紙サイズ	A4(210mm×297mm)	専用(193mm×254mm)	※1
報告様式	《裏面参照》	《現行報告書参照》	※2

※1.封筒(親展)に封入・封緘の上、お届けいたします。

※2.「[577]HIV抗原・抗体」検査の結果報告は、令和5年10月2日受付分より特殊検査報告書に変更されました。

No. 24-01

■ 新「HIV検査報告書」の見本(縮小して掲載しております。)

検査報告書					受付No. 010499999			
コード	00 00 00000	施設名	見本病院		採取日	01月04日10時		
氏名	ミホン タロウ	性別	男性	外来	病棟	受付日	R06年01月04日	
生年月日	S 49年01月01日生	年齢	50才	診療科目	内科		報告日	R06年01月11日
カルテNo.	12345	保険	透析	妊娠	週			

検査項目	成績	単位	基準値
HIV-1RNA定量			
結果	20未満	コピー/mL	20未満
増幅シグナル検出	検出せず		検出せず

コメント

委託先: 02 検査責任者: 久 枝

CRC
総合インフォメーション
092-623-2111

■ HIV-1/2抗体確認検査(イムノクロマト法)に関する注意事項

- ・ 感染まもない急性感染期では抗体価が低く、感染状態でも「陰性」または「判定保留」になることがあります。このため HIV-1RNA定量検査の結果と併せて判定することが必要です。
- ・ HIV抗原・抗体スクリーニング検査が陽性で、抗体確認検査が「陰性」または「判定保留」であり、HIV-1RNA定量検査が「陽性」の場合、急性HIV-1感染期と考えられます。HIV-1RNA定量検査が単独陽性の場合、2週間以降にHIV-1/2抗体確認検査により陽性を確認することが推奨されています。

■ HIV-1RNA定量検査に関する注意事項

- ・ 低ウイルス量感染または治療中の場合は、ウイルス量が微量のために検出感度以下になることがあります。
- ・ HIVのタイプにより検出できない場合があります。
- ・ 結果が定量下限未満(20未満コピー/mL)であっても「増幅シグナル検出」が「検出」の場合はウイルス核酸が「検出された」とご判断ください。

■ 各検査の結果により再検査が推奨されるケース

スクリーニング検査	HIV-1/2抗体確認検査		HIV-1:RNA定量確認検査	
HIV抗原・抗体検査	HIV-1	HIV-2	検 出	検出せず
陽 性	判定保留	判定保留	①	②
		陰 性	①	②
	陰 性	判定保留	①	②
		陰 性	①	③

① 2週間後以降にHIV-1/2抗体確認検査の再検査をお勧めします。
 ② 2週間後以降にスクリーニング検査より再検査をお勧めします。
 ③ 感染リスクがある場合、2週間後以降にスクリーニング検査より再検査をお勧めします。

・用紙の中心にミシン目があり、検査結果と解説が切り離せるようになっております。

以上